

市政を問う! 《市民の声を》



A
福祉事務
所長

利用者への反応として生活援助者や身体介護の生活援助の中で、代表的な掃除、食事の配

Q
質問

利用時間短縮における利用者の反応は。

A
高齢障がい
課長

今後、実態に即した見直しが行われると考えている。

これは40分掛かるがこれが実態に即していると考えらる。

Q
質問

洗濯を例にしてみると、厚労省は洗濯に掛かる平均サービス時間を16分としているが、平均的な全自動洗濯機、こ

A
福祉事務
所長

洗い、調理など幾つかの行為の組み合わせを一つの区切りとして45分が実態からみ

Q
質問

生活援助のヘルパー利用の時間短縮はどのような経緯で行われたか。

A
福祉事務
所長

市の介護認定者以外のヘルパー利用については時間短縮はあっていない。

Q
質問

ヘルパーの時間延長を市の軽度支援事業で取り組めないか。



一般質問

佐藤 知美

介護保険制度の
ホームヘルパーの
時間短縮は
何をもたらしたか。

A
高齢障がい
課長

神崎の軽度支援事業は、介護状況にならない方を支援している方の支援には充当できない。また、軽度支援におけるヘルパーの利用短縮はあっていない。

Q
質問

愛知県では事業所アンケートで48%が変更されている。制度が変わった状況で変更があまりないという事はあり得ない。いづれにしても時間短縮で困っている方達がおられるが、市の軽度生活支援事業で取り組めないか。

A
福祉事務
所長

中部広域内ではケアプランの変更はあまりあっていない。

Q
質問

時間短縮になり、その時間内にサービスが終わらない状況の時には、利用回数を増やすなどのケアプランの変更が必要と思うが中部広域連合内でのケアプランの変更状況は。

A
福祉事務
所長

持ってあるわけではないが、介護認定の部分については有資格、そこら辺を考えると若干の矛盾は感じる。

Q
質問

社協のヘルパーさんは軽度社協のヘルパーさんという事で、資格も全て持っているわけではないが、介護認定の部分については有資格、そこら辺を考えると若干の矛盾は感じる。

A
福祉事務
所長

下膳、洗濯などを45分に短縮されたら大変困るなどの意見があっている。介護認定を受けていない方の生活援助についてはヘルパーの利用時間は変更がな

Q
質問

く、利用料は二百円と負担は軽い。介護認定を受けている方達は時間短縮になり、利用料は引き上げられているが矛盾を感じないか。

A
福祉事務
所長

下膳、洗濯などを45分に短縮されたら大変困るなどの意見があっている。介護認定を受けていない方の生活援助についてはヘルパーの利用時間は変更がな

Q
質問

く、利用料は二百円と負担は軽い。介護認定を受けている方達は時間短縮になり、利用料は引き上げられているが矛盾を感じないか。

A
福祉事務
所長

下膳、洗濯などを45分に短縮されたら大変困るなどの意見があっている。介護認定を受けていない方の生活援助についてはヘルパーの利用時間は変更がな

Q
質問

く、利用料は二百円と負担は軽い。介護認定を受けている方達は時間短縮になり、利用料は引き上げられているが矛盾を感じないか。

Q
質問

県道三瀬神崎線の長崎自動車道(小淵集落)より上の道路拡幅工事の経過について

A
福祉事務
所長

地域別で神崎地区97世帯、千代田地区9世帯、脊振地区10世帯となっており、9月の統計では佐賀県での保護率は9・30%となっているが、神崎市では116世帯、149人で保護率としては4・59%で県全体では少ないほうである。

Q
質問

神崎市ではそのような事例はない。

A
福祉事務
所長

神崎市での生活保護申請の状況と保護率について。現在では、査察指導委員1名、ケースワーカー2名、医療・介護事務担当者1名合計4名で取り組んでいると聞いている。高齢者の占める割合も高い中十分な配慮を願います。

Q
質問

現在では、査察指導委員1名、ケースワーカー2名、医療・介護事務担当者1名合計4名で取り組んでいると聞いている。高齢者の占める割合も高い中十分な配慮を願います。

A
福祉事務
所長

現在では、査察指導委員1名、ケースワーカー2名、医療・介護事務担当者1名合計4名で取り組んでいると聞いている。高齢者の占める割合も高い中十分な配慮を願います。

Q
質問

現在では、査察指導委員1名、ケースワーカー2名、医療・介護事務担当者1名合計4名で取り組んでいると聞いている。高齢者の占める割合も高い中十分な配慮を願います。

A
福祉事務
所長

現在では、査察指導委員1名、ケースワーカー2名、医療・介護事務担当者1名合計4名で取り組んでいると聞いている。高齢者の占める割合も高い中十分な配慮を願います。



一般質問

實松 博記

生活保護不正受給
過去最高の報道。
神崎では。

A
市長

現在では火葬場だけが先行し、全体的な有効活用についてはどのようにしているのか。とりあえず駐車場なり多目的な運動公園なりいろいろ案が出てくる中で一体的な開発は行っていく考えです。

Q
質問

現在では火葬場だけが先行し、全体的な有効活用についてはどのようにしているのか。とりあえず駐車場なり多目的な運動公園なりいろいろ案が出てくる中で一体的な開発は行っていく考えです。

Q
質問

現在では火葬場だけが先行し、全体的な有効活用についてはどのようにしているのか。とりあえず駐車場なり多目的な運動公園なりいろいろ案が出てくる中で一体的な開発は行っていく考えです。

A
建設
部長

現在では火葬場だけが先行し、全体的な有効活用についてはどのようにしているのか。とりあえず駐車場なり多目的な運動公園なりいろいろ案が出てくる中で一体的な開発は行っていく考えです。

市政を問う！《市民の声を》



Q 質問
認知症対策に本格的に取り組んでいくために現在、国内で最も予防・治療対策の進んでいる鳥取県琴浦町の

助言、相談、指導等を行っている。忘れ相談室を開催し、専門医によるおいて月一回交互に年12回の、ものとして神崎、千代田の保健センターに

A 事務 福祉所 所長
家族を対象に、認知症高齢者の早期発見、予防対策として、

Q 質問
現在、行政としての予防対策はどうしているか。

A 事務 福祉所 所長
65才以上で844人、64才以下で9人、合計850人程度と推計している。

Q 質問
10年間で倍増したと言われる認知症。神崎市の患者数は何人か。

一般質問

原 信義

認知症、予防対策の
早急な取り組みを。



A 市長
職員研修は大いに必要と思っております。担当部署が必要とすれば積極的に認めていく。

A 事務 福祉所 所長
認知症対策は十分な対応できていない。

Q 質問
1、561人の30%が認知症患者。実態に比べて対策がおかれているのではないか。

Q 質問
平成23年度の中部広域連合の資料では、本市の認定者の割合は、

A 事務 福祉所 所長
本市では、二次予防事業として65才以上で介護保険の未申請者を対象に平成23年度より3カ年事業として基本チェックリストの郵送・配布を

発、医師会の協力を得て老人クラブの会合や地区に出向いて、出前講座などの開催を計画したい。

取り組みに学んで、認知症予防対策の早急な確立、実行を進めるべきと考えるが。

Q 質問
知的財産権を一括して取り扱う部署を設ける必要があると思うがどうか。市単独で難しい場合は吉野ヶ里町や三神地区での共同は。

A 企画 総務部 部長
ヒッシー君については、原作者が西九州大学に利活用を委ねられている状況。商標権については未登録の模様。商工観光課と政策推進室が別々に著作権を扱っているようだが、特許権なども含

Q 質問
ヒッシー君の著作権財産権と商標権は。

A 建設部 産業理事
デザインに係る著作権財産権は市が保有。商標権も身飾り品、おもちゃ、人形などの出願区分において登録済み。ヒッシー君の著作権財産権と商標権は。

Q 質問
ゆるキャラの著作権・商標権について

A 市長
一人でも多くの市民の気持ちを一カ所に集めたいと願っています。今後も続けていきたい。

一般質問

古川 裕紀

市長の市民交流祭
への思いは。

A 推進 政策室 室長
市民の融和と一体感の醸成を目的として、貴重な600万円を使わせて頂いているという認識である。

Q 質問
今後の展開について。

A 企画 総務部 部長
今後は秋の収穫祭として充実させていったほうが良いのではないかとという方向が見えてきたと思う。

Q 質問
今年度の開催を振り返ってどうだったか。

A 企画 総務部 部長
来場者数は延べで4000名程度。鍋の出店が10店あり、そのほかの出店も含め22店。またカラオケ大会やキャラクターショーなど充実していたと思う。反省点としては天候に関し開催が順延かの判断が大変難しかったこと。

Q 質問
市民交流祭について

A 観光 商工課 課長
市として3町の夏祭りを捉えた中で検討したい。

Q 質問
3町で開催されている夏祭りについて、夏祭り自間など銘打つていれか1つには必ず行きたくなる仕掛けや、3つの祭り全てに参加したくなる仕掛けがあってもいいのでは。

A 市長
神崎市だけでやるのか広域で捉えるのか含め、検討してみたい。

市政を問う! 《市民の声を》



一般質問



中野 均

平成25年度予算編成と活力のあるまちづくりについて。

Q 質問

平成24年度の施策・主要事業を検証し、課題・成果を捉えて、平成25年度当初予算にどのように反映させ、活力のある街づくりを目指していくのか。

A 企画 総務部

平成25年度当初予算編成に当たっては、事業の取捨選択、財源の重点的・効率的配分により、市民の福祉向上を図る。新年度は、憩いの家改築事業・学校の外壁改修事業・小学校の空調整備・脊振武道館改築事業・中央公民館改修事業などの重点事業を考えている。

Q 質問

憩いの家改築に当たっては、伊藤玄朴の旧宅、九年庵の春の開放・秋の開放で神崎市に年間7万〜8万人の観光客が来られますので、観光面を含めた憩いの家整備をすべきではないか。例えば、資料館とか展示室など九年庵の開放時しか見られないので、春秋の風景などの写真展示するような複合的な施設整備が出来ないか。

A 市長

憩いの家が老朽化、温泉の源泉井戸がいつまでもてるのか、非常に危ない時期にきている。今回、伊藤玄朴、九年庵の来訪者についても考慮している。資料館的な写真の展示については、フロアの中とか、一般の方がくつろぐところを計画している。

農業体質強化基盤整備促進事業（暗渠排水工事）要望面積と事業費について

Q 質問

平成25年度希望面積と事業費見込みと可能面積はどのような見通しであるのか。

A 建設 産業部

神埼町で170ha、千代田町で230ha、計400ha。事業規模で6億6千万円程度必要である。平成24年度の景気対策で190haを実施出来たか、国・県と調整中。残り210haについては、平成25年度予算で実施することで要望していきたい。

Q 質問

210ha位残るといいますが、25年度予算で満額つけば問題ないが、残った方から不満が出ると思うので、予算の確保に頑張りたい。

A 市長

残った事業をどうするかについては、私は今現実にある暗渠排水事業など要求しながら、要望者のことは全部でできるようにしていきたい。

一般質問



廣瀨 恒明

県道三瀬・神埼線

(小淵地区周辺)

道路整備状況は。

Q 質問

県道三瀬神埼線小淵地区周辺は道路拡がコマ切れになっている。景観も悪く地域の方々に不便をかけている。歩道もできずにいるが、その後の事業の状況はどうなっているのか。又、飯町交差点から仁比山小学校前迄の区間の歩道改良はいつから始まり終了の予定はいつごろになるのか。

A 建設 産業部

道路管理者にたずねた所、平成8年度に事業着手がなされたところであるが、用地取得が難航したことから平成17年度に事業が休止されている。市としては、小淵地区周辺の児童の安全確保、九年庵等の観光地もあることから、早期に整備して頂く必要があると思っている。

次に飯町交差点から仁比山小学校前の区間については、歩道の不連続区間となっている。当区間の整備は長年の懸案事業であったが、用地取得の目途が立ち、その状況にもよるが、平成25年度にも工事着工したい

と県より伺っている。平成28年度の完了を目指したいとの事である。

Q 質問

脊振地区メガソーラーその後の経過はどのようになっているか。

A 企画 総務部

脊振町一谷地区の市所有の遊休地にメガソーラー設置の誘致計画を立て、募集を行なったところ、1社から企画提案書が提出されている。市においては、現在、九州電力から示された条件に沿った企画提案の再度の提出をお願いしている状況である。

その他の質問

- ・地区担当制設置の成果及び問題点
- ・過疎化・高齢化に伴う高齢者世帯・家族の困りごと等の対策はどのようにしているか
- ・改正高齢者雇用安定法について
- ・更生保護で努力されている保護司の活動
- ・過疎自立促進計画での国保診療所、福祉センターの設置はどう考えているか
- ・地域農業マスタープランについて
- ・森林整備・林業育成対策（山林荒廃対策）
- ・櫛田の市の対策・レトロ・ロードの活用策



市政を問う！《市民の声を》



駐車場の拡大は。(仁比山の高速バス停駐車場)

A
総務部 企画部長

この駐車場は、路上駐車を解消する目的で設置している。今後、利用状況を見ながら検討したい。

Q
質問

仁比山に高速バスのバス停がある。その駐車場の追加的に拡大するのはどうか。質問の意図としては、地元のごまごまに残って、通って行くようにします。



一般質問

宮地 明

高速バスの
バス停について。

その他の質問

- ・ゴミ処理について
- ・道路・河川・公園について
- ・市税について



伝統文化(高志狂言)

学校教育では、第3学年及び第4学年の社会科の授業におきまして、地域社会に対する誇りと愛情を育てるために、伝統や文化などの地域の資源を保護、活用している事例を取り上げて、学習しております。

A
教育部長

社会教育に関する取り組みにつきましては、社会教育係、文化財係、公民館係で、市民の皆さんに伝統文化のすばらしさや重要性を認識いただいております。

Q
質問

伝統文化についてどう扱っているか。

伝統文化について

Q
質問

あと開催まで、二年目以降の経費は。

A
総務部 企画部長

①市から応援の協力を依頼する団体への、ユニフォーム(180着程度)作成費として約47万円
②本庁舎に掲げる懸垂幕(一張)、及び沿道応援箇所に掲げる横断幕(五張) 作成費として約27万円
③沿道等応援箇所に掲げるのぼり旗(500枚程度) 作成費として約79万円を予定している。

A
総務部 企画部長

吉野ヶ里歴史公園を折返し地点として、神崎市内の約11km区間における応援、及び市のPRを行うための準備経費です。

Q
質問

今回の補正予算153万円に。(数量、設置場所等)職員の動員があれば、どれだけの経費になるか。



一般質問

野口 英樹

さが桜マラソンについて。

A
総務部 企画部長

迂回が見込まれる時間帯については、各箇所において、先頭通過予定時刻の概ね30分前から遮断し、最後尾通過をもって開放する予定です。今後、具体的な通過時刻の決定に伴い、市報かんざき・市ホームページ・主催団体である佐賀新聞等・マスメディアによる周知等のほか、沿道等現場において予告看板の設置を行い周知の徹底に努める予定です。

Q
質問

競技開催中については、コース上の一般車両の通行は規制され、コースとなる道路及び交差する道路の遮断が行われる。

A
総務部 企画部長

コースは規制され、コースとなる道路及び交差する道路の遮断が行われる。

A
総務部 企画部長

翌年度の債務負担行為設定額500万円の負担金支出を平成25年度に予定している。この他に、市の独自応援、おもてなしに係るテント設営費や市が独自に依頼する応援団体等に対する謝礼を予定している。二年目以降の開催経費の負担金は、一年目開催に係る経費で初期投資に係る経費を除く額について、負担額の計算が行われ見込みであり、一年目と比較し減少する見込みです。また、市の独自応援に係る経費についても、二年目以降も使用できるものについては、減少させたいと考えている。

市政を問う! 《市民の声を》



たな就農形態や、いわゆる農業の6次産業化のような新たな経営形態の出現など変化し続ける農業情勢を踏まえ、地域の農業を支えるリーダーや学問的な農業の発展を支える将来の農業スペシャリストを育成するための教育支援は欠かせない。M17、

一般質問



白石 昌利

将来の農業
スペシャリストを
育成するための
教育支援は
欠かせない。

Q 質問

農業は人類の生存に必要な不可欠な食料を供給するものであり、人類、そして社会の根本を支える産業である

とともに、国土の保全、水源の涵養、自然環境の保全、良好な景観の形成、文化の伝承など多面的な機能を有している。農業教育は、このように重要な産業である農業に従事するために必要な知識、技能及び態度を習得させる産業教育の役割を担い、そして農業従事者を育成するもので、また人の力の及ばない自然を相手に、動植物を育てる教育を通して、思いやりや忍耐力を身につけさせる役割についても見直されてきていると言われる。農業法人への就職という新たな就農形態や、いわゆる農業の6次産業化のような新たな経営形態の出現など変化し続ける農業情勢を踏まえ、地域の農業を支えるリーダーや学問的な農業の発展を支える将来の農業スペシャリストを育成するための教育支援は欠かせない。M17、

A 建設 産業部

食や農への関心の高まりでの幅広い農業教育の考え方やその支援事業について伺う。

農業従事者の6割以上が65歳以上であるなど高齢化が進展する中、地域農業の将来を担う新規就農者を確実に確保していく必要があると考えている。本年度より国の施策が大きく転換を図られており、新規就農総合支援事業というものが創設されている。この中で、県農業大学校や県が指定する先進農家や先進農業法人で農業技術の研修を受ける場合最長2年間になるが、年150万円の給付金を受けられる青年就農給付金準備型とか、また農業法人等が就農希望者を新たに雇用し、就農に必要な技術・経営ノウハウ等を習得させるための実践的な研修に必要な経費の一部を支援する農の雇用事業(最長2年間で年間120万円)といった支援が創設されたところである。本市においても、県普及センターやJAと連携を図りながら、この新規就農総合支援事業を活用した取り組みを推進し、本市における担い手育成に努めていきたい。



一般質問



田原 和幸

災害避難する際の、
要援護者や
福祉避難所に
ついて。

A 機長 危険課 防災課

福祉避難所の指定は行なっていないが要件を満たす市内施設と協議して指定したい。

Q 質問

3月の当初予算に中央公民館の改修設計委託料が上程され11月の全員協議会で事業計画案が示された。改修費6億円以上に若干驚愕しました。平成21年の内部委員会の詳細について伺う。

A 公民 中央館

21年8月から市民課副課長を座長に11名の職員で3回の検討委員会を開き、22年度基本設計、23年度工事発注事務及び工事期間、提案された見込総費用額は4億3千万円程度です。

Q 質問

22年2月から内部委員会報告に加え市民の声を聞く為の方策等を検討し、1年半後23年7~9月でやっとアンケート調査(総数22件)、この後の内部検討の結論は。

A 公民 中央館

アンケートによる新しいニーズ等が発掘されたものを加えた案を積上げている。

Q 質問

24年7月から4回の部長級の内部検討委員会で大規模改修となり2億円もはね上ったプロセス、財源の変更について伺う。

A 教育 部長

ニーズへの対応、福祉ユニバーサルデザイン、長寿命化等、再検討を行った。当初財源の緊急防災・減災事業等が東北中心に配分され、合併特例債及び一般財源へ計画変更を余儀なくされた。

Q 質問

年次計画で今頃は完成していた筈だ。ブランクの時期は検討を行ってない、サークル中心にアンケートを1回だけ、一般市民に対しては無。人事的にマズカッタと考えられないか。

A 市長

急いで行いたかったがブランクの御指摘は調査、私が最終的には怠慢であるという事になるかもわからない。が、どの担当部署においても懸命にやっていると私は信じている。

その他の質問

・図書館について



市政を問う! 《市民の声を》



Q 質問
燃えるゴミの量に対する市の負担金は、平成21年度は6,024万9千円、平成22年度は6,097万6千円、平成23年度は6,060万8千

A 福祉市民部長
核家族が進んでいると分析し、生ゴミは、山間地では畑に埋めて堆肥にしていたが、最近では、じんかい処理に出される家庭が増えて来たのではないかと見ている。

Q 質問
神崎市の人口は、平成21年度3万3,590人、平成22年度は3万3,446人、平成23年度は3万3,193人と減少しているが、世帯数は、平成21年度は1万1,088世帯、平成22年度は1万1,167世帯、平成23年度は1万1,199世帯と多くなっている。ゴミの量は、平成21年度は5,816t、平成22年度は5,805t、平成23年度は5,849tと多くなっている。この現象を市はどうみるか。



一般質問

野副 芳昭

神崎市内の
ゴミ減量化対策に
マイバック利用を。

A 企画総務部長
団員の就業構造や仕事の多様化に伴い式典への出勤が困難な方もいるが、消防団の意義や役割を認識してもらい、多くの団員が活動できる行事を行ない、全ての条件で退職金をいただけるよう徹底を進めていく。



Q 質問
神崎市消防団員の定数は1,020人に対し実数は1,001人と98%の充足率で、防災や災害時の対応は安心できるが、行事への参加率が約60%前後である。規律、厳正を基本とする消防団員の評価が下がり、退職金への影響はないか。

Q 質問
神崎市の人口は、平成21年度3万3,590人、平成22年度は3万3,446人、平成23年度は3万3,193人と減少しているが、世帯数は、平成21年度は1万1,088世帯、平成22年度は1万1,167世帯、平成23年度は1万1,199世帯と多くなっている。ゴミの量は、平成21年度は5,816t、平成22年度は5,805t、平成23年度は5,849tと多くなっている。この現象を市はどうみるか。

A 福祉市民部長
地球環境の保全やゴミ減量化に向けて、EMほかの堆肥化やマイバックを市内及び構成市町と協議し検討していく。

消防団員の退職金について



Q 質問
市直営の学校給食共同調理場が9月より稼働している。ここは、一日3,000食という、これまで作ったことがない数量の給食を、おいしく、安全・安心の給食として、しかも決められた時間内に各学校に届けなければならぬという、大変厳しく、責任重大な職場である。しかしそういう職場に見合うだけの労働条件になっていないのが現実である。健康管理、賃金、雇用条件等を含めて質問する。



一般質問

福田 清道

学校給食共同調理場
職場の労働条件
改善について。

A 市長
臨時職員の賃金見直しについては、全体を見て判断し、検討していきたい。

Q 質問
佐賀市は7,110円、これは県内で最高、県平均は6,435円である。給食については生徒、保護者からのさまざまな要望もある。そういう厳しい環境の中で調理員として誇りを持って仕事をされている臨時職員の賃金は最低でも県平均に引き上げるべきである。

Q 質問
学校教育のなかで給食は、大変重要な役割を担っている。その中心の働き手である調理員さんの賃金は県内10市の中で何番目か。

A 企画総務部長
神崎市の調理場、臨時職員の賃金は1日6,100円で、学校給食を実施している市の中では最低である。

A 教育部長
現在、調理員は正職員2名、臨時職員24名、うち調理員20名、配送運転手兼調理補助員4名で、毎日、3,000食の学校給食を調理している。働きやすい職場環境づくりに向け、アンケート調査などを実施し改善に努めている。勤務ローテーションを見直し、増員等を検討したい。

その他の質問

・神崎市中小企業基本条例の制定を求める

市政を問う！《市民の声を》



一般質問



内村 夏生

市民交流祭等
諸行事を
周辺地域でも
開催すべきでは。

Q 質問 周辺地域（脊振・千代田）から合併後、地域が寂れていく感じがするとの声をよく耳にする。周辺地域の活力に繋げるためにも、市民交流祭や市の諸行事を中央部だけではなく、周辺地域でも開催すべきでは。

A 企画 総務部長 地域振興による周辺地域の活力は市の重要課題。市民交流祭のあり方などについては、今後十分議論し、検討したい。

A 教育部長 教育委員会が所管するイベントや体育行事などについては、極力各地区で開催してきた。今後も市民ができるだけ多く参加できるよう、更に心がけていきたい。

Q 質問 基幹産業である農業の振興を図ることが市の課題。今後、担い手育成など、どのような振興策を考えているのか。

A 建設 産業部長 農業従事者の6割以上が65才を過ぎており、担い手確保が大きな課題。このため関係機関と連携し、新規就農促進事業や国・県の補助制度を活用した支援策を設け、本市農業を安定的に持続していくプラン作成を進め、しっかりと担い手の支援を行っていく。集落営農については、本年度から法人化対策の予算を設け、より安定的な農業経営の実現に向けた組織の支援をしていく。

Q 質問 市北部山間の猪被害対策を講じてきたが、更に被害が多発している。今後の被害対策をどう考えているのか。

A 建設 産業部長 広域的な対策が効果的であり広域駆除対策協議会で取り組んできた。被害対策については有効な手立てがないことも実情であるが、猪の数を減らすことが重要で、継続的駆除は不可欠である。このため駆除従事者である猟友会の意見等を十分聞き、箱わななどを支援し対策をしていく。

また防護柵等設置箇所の被害対策については、地域ぐるみでの取り組みが必要で、今後検討したい。

Q 質問 猪駆除で、猟友会から解体処理施設の整備要望があったが、どうなっているか。処理施設は東部地域で協議しているがなかなか進まない。全体的に協議していく。

A 市長

一般質問



原口ひさよ

女性管理職の
登用を。

Q 質問 内閣府の地方公共団体における男女共同参画に関する取り組みの進捗状況調査の中で、女性公務員の管理職の登用状況が、平成23年4月現在、都道府県の管理職に占める女性の割合は6・4%、市区町村の管理職に占める女性の割合は10・4%である。又、審議会等委員に占める割合は、都道府県では28・8%、市区町村では23・3%の調査結果が公表されている。

神崎市男女共同参画基本計画の基本理念に、政策や方針を決める過程への女性の参画を拡大するため各種審議会等への女性の登用を上げ推進するとされているが、市の女性職員数、女性管理職、審議会等への登用状況を尋ねる。

A 企画 総務部長 平成24年4月1日現在、職員数251名の内女性職員87名、34・7%である。女性の副課長が3名、係長10名、管理職課長以上は平成24年4月

から今日まではない状況である。審議会の登用状況は22・4%となっている。

Q 質問 管理職に向けた女性の職員研修は。

A 企画 総務部長 女性職員の登用促進の中で、管理職、管理監督者研修、職員としての資質及び能力の向上に努めている。

Q 質問 それぞれの資格を持った職員専門職を活かした管理職の育成としては。

A 企画 総務部長 幅広い能力、スキルを身につけさせるために、現在では保健師を事務職に配置し行政の経験を積み、将来を担う職員の育成に取り組みを進めている。今後についても、市の人材育成方針に基づき専門的な知識能力を備えた職員の育成に務める。



その他の質問

- ・金融円滑化法の終了後の市としての対応
- ・健康器具を利用できるトレーニングルームの設置を

市政を問う! 《市民の声を》



一般質問



宮島 清

大型公共工事の
検証について。

Q 市長
集落における防災無線の利
活用の周知を再度徹底して
行きたい。

Q 質問
近年まれに見る投資で整備
した、事業費3億5千万円
の防災行政無線の活用で、
どの様な効果が出ているのか、12
億8千万円を補助した、ぶんぶんテ
レビ整備支援事業の加入状況と今後
の対応と、その検証を問う。

**A 企画
総務部
企長**
防災無線の放送は災害情報
以外の一般情報も放送すべ
き意見や昼と夕方の定時放
送がうるさいなどの意見が
あり、今後は市民の生活環境に配慮
して内容を充実して行きたい。ぶん
ぶんテレビの加入世帯率は10・9%
です。今後の加入促進については事
業者と共に取組んで行きたい。

櫛田の市について

Q 質問
中心市街地再生活動の一環
として市民団体CSOかん
ざきが、昨年十月から始め

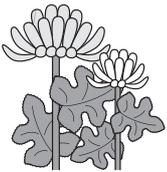
たこの市についてどの様に捉えてい
るのか吉野ヶ里のトラックと市と比
べどう感じているか又、行政として、
賑わいの町づくりの具体策はあるの
か。

**A 企画
総務部
企長**
櫛田の市の課題は集客数に
あると思う。吉野ヶ里のト
ラック市は来訪者も多いと
聞き及んでいて、これから
は集客に努めていただきたい。具体
策については行政主導では限界があ
り今後は市民と協働した取組みが必
要だと思えます。

老人クラブの菊花展について

Q 質問
出展者も減り後継者も少な
い中、精魂こめて見事な花
を咲かせて市民の目を楽し
ませ又、戦没者追悼式での会場の雰
囲気にも一役買っている。開催場所
や運営に行政として何か支援できな
いか。

**A 事務
福祉所
社長**
菊花展の開催時は職員に
よって運搬の手伝いをして
います。今後は共催や出展
者の励みになる賞など老人
クラブと協議を進めたいと思ってい
ます。又、文化祭会場での開催は文
化連盟と検討していければと思いま
す。



一般質問



山口 義文

市民の安全と
生活を守る
環境について。

Q 質問
通学路の安全確保につい
て、市はどのように考えて
いるのか。

**A 建設
産業部
部長**
児童が通学してくる列に車
が突っ込んで、非常に痛ま
しい事故が続いたことは、
皆様御承知のとおりで、こ
れを受けて国交省のほうから、通学
路に閉じまして関係機関一体となっ
て点検、その結果について公表する
ようにと指示がなされた。本市にお
いても、この8月、11月に教育委員
会、警察署、それと道路管理者であ
る神崎市、県土木のほうと一斉点検
を行なったところである。結果につ
いては市のホームページに公表させ
ていただいている。27ヶ所について、
今後、改善対策をとっていくような
ところを示させていただいて、緊急
な対策が必要などころは速やかに図
られるように努める。

Q 質問
通学路に外側線という白線
が引いてあるが、消えか
かっている。また、幅が50

センチあたり30センチとあり、道
路幅も余り広くない。安心して通れ
る対策として、通学路ですと言っよ
うな明記をされないか。また、黄色
線を引いて通学路対策をとれない
か。

A 教育部長
看板等を設置したらと言う
提案であるが、通学路につ
いては市内小中学校合わせ
て10校あるが、その中の道
路を通学している。通学道路を安全
に車が認識して通る場合は、当然そ
ういう表示は有効だと思われるが、
今後、学校、PTA、教育委員会、
また警察とも協議並に研究してい
く。

高齢者対策について

Q 質問
神崎市において健康な老人
をつくる対策として、どの
ような取り組みや活動が行
なわれているか。

**A 事務
福祉所
社長**
神崎市社会福祉協議会に委
託して、地区公民館や集會
場を利用し、レクリエー
ション、健康講座等の各種
サービスを提供し、清流苑、こすも
す苑では健康増進保持、運動機能の
向上目的に行なっている。

その他の質問

・今後の農業問題について